

平成22年度
事業報告書

社会福祉法人
うきは市社会福祉協議会

目 次

□うきは市社会福祉協議会組織構成	1
役員名簿、常設委員会委員長名簿、部会長名簿	1
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標	2
□平成22年度事業報告〔概要〕	2
I 総務部門	3
1. 法人運営事業	3
(1) 理事会	3
(2) 評議員会	4
(3) 監事会	4
(4) 会長・副会長会	4
(5) 社協会員に関する事	4
(6) 市民（会員）に対する弔意に関する事	4
(7) 職員の技量向上に関する事	5
(8) 緊急・災害時対応マニュアル作成に関する事	5
2. 指定管理施設運営事業	5
(1) うきは市老人憩の家	5
(2) うきは市老人福祉センターちかぜ及び社会会館	5
(3) うきは市総合福祉センター	5
3. 公益事業	6
II 地域福祉活動部門	6
1. 調査・研究事業	6
2. 企画・広報事業	7
3. 連絡調整事業	8
4. たすけあい献血推進事業	8
5. 福祉サービス利用援助事業	9
6. 障害者地域生活支援事業	11
7. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業	12
8. ふれあいのまちづくり推進事業	13
(1) 総合相談事業	13
(2) ボランティア活動に関する事	15
(3) ふれあいセンター・地区公民館福祉部、福社会活動支援事業	18
(4) ふれあいセンター活動計画策定モデル事業	19
(5) 民生委員児童委員活動の支援・助成	20
9. 共同募金配分金事業	20
(1) 高齢者への支援	20
(2) 障害者・家族への支援	20
(3) 児童・青少年福祉に関する支援	21
(4) 福祉教育に関する事業	21
(5) 住民全般に関する事業	22
(6) 災害緊急支援活動に関する事業	22

(7) たすけあい援護金品の支給に関する事業	22
(8) 歳末たすけあい配分事業に関する事	23
10. 資金貸付事業	23
(1) 生活福祉資金貸付事業	23
(2) 援護資金貸付事業	24
(3) 育英奨学資金貸付事業	24
11. 家族介護支援事業	24
12. 移送サービス支援事業	24
III 在宅福祉サービス事業部門	25
1. うきは市ケアプランサービスセンター	25
2. うきは市ヘルパーステーション	25
3. うきは市デイサービスセンター	26
4. 福祉給食センター	27
5. 身体障害者小規模通所授産施設「白鳥の家」	28
6. 関係機関との連絡調整	28
IV その他	29
1. 実習・見学受入状況	29
V 平成22年度寄付者名簿	30
一般会計(香典返し寄付)	30
一般会計(一般寄付)	33
授産施設特別会計(物品寄付)	34

うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会 30名
執行機関	理事会 12名
監査機関	監事 2名
常設委員会	葬祭事業運営委員会 10名
	献血推進協議会 31名
	契約締結審査会 8名
	貸付調査委員会 9名
	地域福祉活動計画策定委員会 22名
部 会	高齢者福祉部会 12名
	障害者（児）福祉部会 15名
	児童福祉部会 11名
	福祉教育部会 11名
	ボランティア部会 12名
特別委員会	随時設置

役員名簿（平成23年3月31日現在）

役職	氏名（選出区分）
理事（会長）	今村 茂清（学識者）
〃（副会長）	坂手 進（学識者）
〃（副会長）	江藤 洋介（学識者）
〃	舎川 晴一（区長会）
〃	樋口 和親（公民館・ふれあいセンター）
〃	永井 ケイ子（民生委員児童委員協議会）
〃	高山 敏枝（議会）
〃	鎌田 康秀（行政）
〃	石井 忠孝（学識者）
〃	稲田 好男（学識者）
〃	江島 義信（学識者）
監事	伊藤 正勝（学識者）
〃	小林 誠一（学識者）

常設委員会委員長名簿（平成23年3月31日現在）

委員会名	委員長名
葬祭事業運営委員会	高浪 務
献血推進協議会	今村 茂清
契約締結審査会	大石 ヨシ子
貸付調査委員会	江藤 武夫
地域福祉活動計画策定委員会	伊藤 正勝

部会長名簿（平成23年3月31日現在）

部会名	部会長名
高齢者福祉部会	古賀 幸男
障害者（児）福祉部会	重富 浴夫
児童福祉部会	別府 美江
福祉教育部会	佐藤 勝詔
ボランティア部会	岩佐 捷之

うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等に対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

平成22年度事業報告

【概要】

社会福祉協議会は、社会福祉法に規定されている役割を自覚し、「住民皆さまの会」として、5つの運営理念のもと、基本目標に「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」を掲げ事業を展開して参りました。

【会員制度】

社協の根幹である会員制度については、各世帯への趣意書の配布、会費の集約等に区長会の協力を頂き加入の促進に努めましたが前年度を下回る実績となりました。結果を踏まえ、各集落、団体等の集まり等様々な機会を通じて更に社協事業についての市民の理解・浸透を推進する必要があります。

【校区・小地域福祉活動】

校区（地区）活動の面では、地区ふれあいセンターと地区公民館（福祉部）の代表者による連絡会議を定期に開催し、活動内容の情報交換、課題等の意見交換を行いながら、吉井、浮羽の地域性を踏まえながらも、福祉活動に大きな格差が生じないよう努めました。活動支援にあたっては、地区担当職員を配置し、側面的に支援を行いました。また、活動財源については、住民会費が身近な福祉活動に有効に活用されるよう特に配慮しました。

行政区等小地域を範囲とする福祉活動では、ふれあいセンターと共に組織化を進めている「福祉会」は、年度末で1カ所増の23カ所となりました。また、民生委員児童委員協議会とともに開催推進している「よりあい」は、介護予防を主目的とする市所管課が進める「げんき塾」と役割分担しながら、その目的とする「閉じこもり防止」「生きがい健康づくり」「安否確認」に地元福祉委員等と連携を図り、新規に5区が開催を始めました。いずれも活動の中身には濃淡はあるものの、一番身近で密着した住民活動として取り組んでいただいています。更に側面的支援をしていく必要があります。

【資金貸付】

離職等による生活困窮世帯への貸付件数は、昨年度に比べ53%減少しました。減少の原因は、急激な経済状況の落ち込みから一定脱したことと、一つ一つの貸付相談にじっくり応じ、貸付以外の他の支援策につなげることができたことが考えられますが、年度末に発生しました東日本大震災の影響が懸念されます。

【不登校・引きこもり相談支援】

市より7月から新規委託を受けた「不登校・引きこもり対策専門支援員事業」は、全国的にも先駆的な取り組みであり、先例が少ない中での事業開始ではありましたが、まずは当事者、ご家族との接点と関係作りに傾注し、一定の成果を得ることができました。今後は、更に事業効果を上げるため、福祉機関だけでなく、教育機関等関係者との連携を強化し、適切な役割分担と協働活動を進めていく必要があります。

【福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）】

認知症、障害等により判断能力が衰え、日常生活に不自由を来す高齢者等が増加しており、このサービス利用者も実人員で5人増加しており、今後も増加が見込まれます。一定以上判断能力が衰えてしまうとこのサービスを利用できないため、法人後見等を含めて今後の社協の役割の研究を重ねていく必要があります。

【災害ボランティアセンター】

災害ボランティアセンターの具体的役割について、市防災所管係、福祉係と協議を重ね社協の役割を一定明らかにすることができました。実効を担保するためには、「人」「もの」「カネ」を確保する必要があり、引き続き市と協議を重ねる必要があります。

奇しくも東日本大震災が発生しましたが、その被災状況、復興ボランティアの活動を丁寧に把握し、活かしていかなければなりません。

【在宅福祉事業】

市民だれもが、地域で安心して、しあわせに暮らせるよう、それを支える多層的、重層的な福祉サービス体勢づくりに努めました。

その体勢の柱の一つである在宅福祉事業は、利用対象者を市民に不便をかけないよう、うきは市域としており、市民の在宅福祉を支えるため、関係機関と連携を図りながらサービスの量、質の向上に努めています。

これを経営面から見ると、前年度比で収入が介護保険事業で5.2%減、障害者自立支援事業では、21.7%増となりましたが、いずれも収入予算に対してはマイナスとなり、単年度でみると介護部門は厳しい経営（収支差△1,200千円）となりました。原因には利用者の入院・入所及び死亡による減少に対し、新規利用者の申込が増えていないことが考えられます。

また、厳しい経営環境ではありますが、居宅介護支援事業（ケアプラン作成等）、訪問入浴サービス事業については、採算が合いにくいものの、市民の福祉を支えるためにも継続して実施しました。

【葬祭事業】

葬祭事業運営委員会から吉井町域住民の認知度がまだ低いとの指摘を受け、パンフレットの関係先への配布、チラシ（保存版）の全世帯配布等を行い、認知度は徐々に向上してきています。

近年の葬儀のかたちとして、色々な理由で近親者だけによる葬儀（家族葬）が少数ではあるが徐々に増えつつあり、委員会からの提言を踏まえて、これに応えて行くことも検討課題であります。

Ⅰ 総務部門

1. 法人運営事業

(1) 【理事会：全8回】 次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

期日 回数	出席 (理事/監事)	内 容
5/11 第62回	12/2	・評議員の委嘱について ・顧問の委嘱について
5/21 第63回	9/1	・平成21年度事業報告の承認について ・平成21年度一般会計、特別会計収支決算報告の承認について ・平成22年度一般会計第1次資金収支補正予算（案）について ・「婦人会（女性部）」からの役員、評議員選出について
6/11 第64回	9/1	・育児・介護休業等に関する規則の改正について
9/18 第65回	11/2	・高額寄付の報告及び使途の検討について ・介護職員処遇改善交付金に係るキャリアパス要件の届け出について
11/30 第66回	10/2	・職員給与及び退職手当に関する規程の一部改正について
12/20 第67回	10/2	・歳末たすけあい配分事業について ・民生委員・児童委員協議会を代表する評議員の選任について
1/28 第68回	9/2	・職員の職位変更に関する規程の制定について ・就業規則の改正について ・臨時職員の勤務等に関する就業規則の改正について ・平成23年度介護職員処遇改善交付金申請について ・地域福祉活動計画策定委員会委員の委嘱について
3/25 第69回	10/2	・福祉基盤整備基金設置規程の制定について ・職員福祉資格取得促進基金規程の制定について ・平成22年度一般会計第2次資金収支補正予算（案）について ・臨時職員の正規職員への登用について ・葬祭事業運営規程の一部改正（案）について ・平成23年度事業計画（案）について ・平成23年度一般会計及び特別会計資金収支予算（案）について ・理事・監事・評議員選任規程の一部改正（案）について ・処務規程の一部改正（案）について ・介護保険関係運営規程の一部改正（案）について ・職員被服貸与規程の一部改正（案）について ・第三者委員の選任について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

(2) 【評議員会：全3回】 次の日程・内容にて評議員会を開催しました。

期日 回数	出席者 出席／総数	内 容	会 場
5/31 第25回	24 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度事業報告の承認について 平成21年度一般会計及び特別会計収支決算報告の承認について 平成22年度一般会計第1次資金収支補正予算（案）について 理事の選任（団体等の代表の交代）について 	うきは市 総合福祉センター
12/24 第26回	18 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 理事の選任（団体等の代表の交代）について 	うきは市 総合福祉センター
3/31 第27回	20 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度一般会計第2次資金収支補正予算（案）について 平成23年度事業計画（案）について 平成23年度一般会計及び特別会計資金収支予算（案）について 理事・監事・評議員選任規程一部改正（案）について 	うきは市 総合福祉センター

(3) 【監査：全5回】

	期日	内 容	会 場
第1回	5/18	平成21年度決算監査	うきは市総合福祉センター
第2回	7/23	平成22年度第1期監査（4月～6月）	うきは市総合福祉センター
第3回	10/19	平成22年度第2期監査（7月～9月）	うきは市総合福祉センター
第4回	1/17	平成22年度第3期監査（10月～12月）	うきは市総合福祉センター
第5回	3/15	平成22年度第4期監査（1月～2月）	うきは市総合福祉センター

(4) 【会長・副会長会：全14回】

会長・副会長会を5/20、5/31、6/11、7/29、9/15、11/30、12/20、1/5、1/11、1/28、2/3、3/11、3/23、3/31に開催。

(5) 【社協会員に関すること】

①住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	146 / 162	90.1%	73,000	106	53,000	126,000
新川	122 / 145	84.1%	60,600	69	34,500	95,100
田籠	61 / 71	85.9%	30,500	48	24,000	54,500
小塩	206 / 239	86.2%	102,352	65	32,100	134,452
山春	763 / 839	90.9%	381,500	518	259,000	640,500
大石	704 / 896	78.6%	352,000	553	276,500	628,500
御幸	1,712 / 2,226	76.9%	854,931	839	419,320	1,274,251
千年	551 / 1,517	36.3%	275,300	182	91,000	366,300
吉井	876 / 1,580	55.4%	437,900	214	107,000	544,900
福富	833 / 1,293	64.4%	415,900	161	80,288	496,188
江南	628 / 1,049	59.9%	314,000	91	45,500	359,500
市外				8	4,000	4,000
合計	6,602 / 10,017	65.9%	3,297,983	2,854	1,426,208	4,724,191

※住民会費は一世帯500円、賛助会費は1口500円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

②団体会員

社会福祉法人両筑福祉会（知的障害者通所授産施設浮羽学園）

社会福祉法人浮羽コロニー（知的障害者更生施設希望が丘）

社会福祉法人関南会（特別養護老人ホームえびね荘）

社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）

社会福祉法人ふたば会（特別養護老人ホーム水月吉井）

(6) 市民（会員）に対する弔意に関すること

うきは市民（社協会員）でお亡くなりになった方へ、社協より弔電をお送りしました。

(7) 職員の技量向上に関すること

職員の技量向上のため、下記のような研修を行いました。

	期日	参加者 (対象)	内 容
第1回	4/22	61名 (全職員対象)	社協職員としての心構え
第2回	6/18	48名 (勤続5年未満28名対象、自主20名)	接遇向上のための研修
第3回	9/10	61名 (全職員対象)	接遇向上のための研修
第4回	11/19	67名 (全職員対象)	企業におけるコンプライアンス
第5回	2/7.8.15	75名 (全職員対象)	交通安全講習会
第6回	2/25	52名 (自主)	性格診断で自分を知る

(8) 緊急・災害時対応マニュアル作成に関すること

緊急・災害時対応マニュアル策定プロジェクト委員会を発足し (委員: 職員9名)、本会事業に影響を及ぼす災害等が発生するおそれがあるとき、又は発生したときに利用者等の事故及び混乱を未然に防ぎ、或いは最小限にとどめるため、社協職員がどう対応すべきかの手順等を定めるマニュアルを作成しました。

	期日	参加者	内 容
第1回	9/16	13名	昨年度職員全体研修報告、他社協の参考マニュアル、策定の手順等
第2回	9/27	9名	前回課題のまとめ、策定の進め方、風水害の対応の協議
第3回	10/15	9名	前回課題のまとめ、策定の進め方、地震・食中毒・事故対応の協議
第4回	10/29	9名	前回課題のまとめ、組織・緊急連絡体制・自動参集システムの協議
第5回	11/5	9名	前回課題のまとめ、職員の心構え・関係機関連絡先・災害伝言サービス、地図の協議
第6回	11/26	9名	前回課題のまとめ、地図・災害時利用者対応・目次と構成の協議
第7回	12/16	9名	前回課題のまとめ、作成資料の確認と見直し、目次と構成の協議
第8回	1/11	8名	作成資料の確認、平常時備えの配備内訳検討
第9回	2/25	7名	作成資料の確認、委員会報告書立案

2. 指定管理施設運営事業

各施設が施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。また、広報やパンフレット等を活用し市民の方々に広く周知し、7/10にはうきは市老人福祉センターちかぜにて「七夕コンサート」を、11/22には、うきは市老人憩の家にて「憩の家まつり (芸能発表会)」を行いました。

(1) うきは市老人憩の家

(人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	半額免除	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)			
年間計	293	4,683	1,091	218	5,992	2,998	2,994	429	616	7,037
1日平均		16.0	3.7	0.7	20.4	10.2	10.2	1.5	2.1	24.0
月平均	24.4	390	90.9	18.2	499.3	249.8	249.5	35.8	51.3	586.4

(2) うきは市老人福祉センターちかぜ及び社会会館

(人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	減額	宿泊者	貸室 利用	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)					
年間計	307	1,681	7,412	3,093	12,186	5,502	6,683	307	39	123	1,142	13,797
1日平均		5.5	24.1	10.1	39.7	17.9	21.8	1.0	0.1	0.4	3.7	44.9
月平均	25.6	140.1	617.7	257.7	1,015.5	458.5	557.0	25.6	3.2	10.3	95.2	1,149.8

(3) うきは市総合福祉センター

(人)

	開館 日数	一般用貸出室				その他の 部 屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	293	225	4,849	82	1,163	4,088	10,100
1日平均		0.8	16.5	0.3	4.0	14.0	34.5
月平均	24.4	18.8	404.1	6.8	96.9	340.7	841.7

3. 公益事業

「生活の無駄を省く運動」の一環として、昭和51年より葬祭事業を、平成16年度にはうきは斎場を建設し斎場葬を実施。公益事業として誰しも訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるように努めました。また、斎場葬儀の利便が図られるように要望があった無料送迎を遺族の希望に応じ実施しました。

□利用件数 116件

自宅・寺院葬 27件

斎場葬 89件

□委員会・・・次の日程にて委員会を開催しました

	期日	会場	出席者
葬祭事業運営委員会	3/15	うきは市総合福祉センター	委員9名
特別委員会	5/11	うきは市総合福祉センター	委員5名
特別委員会	11/30	うきは市総合福祉センター	委員5名
特別委員会	1/11	うきは市総合福祉センター	委員5名

II 地域福祉活動部門

1. 調査・研究事業

(1)【部会】

次の日程・内容にて各部会が開催され、地域の福祉課題に関して研究・意見の集約をおこない、会長に提言がなされました。

部会名	期日	出席者	協議事項
高齢者福祉部会	8/3	委員6名	・三役の互選について ・平成21年度部会報告 ・今年度の事業について
	12/4	委員9名	・高齢者等買物支援特別委員会報告について ・今後の課題
	2/16	委員10名	・次年度の社協事業への提言
障害者（児）福祉部会	8/3	委員14名	・前年度の部会活動について ・今年度の部会活動について
	12/24	委員15名	・市バスの借用について ・障害者に対するボランティアについて
	2/23	—	・2回開催の意見をまとめ郵送し、意見を集約し次年度社協事業への提言をまとめる
児童福祉部会	8/3	委員7名	・前年度の部会活動について ・社協の児童福祉分野の取り組みについて ・今年度の部会活動について（意見交換）
	12/24	委員7名	・子育て情報紙の作成について ・不登校・引きこもり支援について ・子育て支援について意見交換
	2/16	委員9名	・次年度社協事業への提言について
福祉教育部会	8/3	委員6名	・役員選出 ・21年度の提言について ・21年度の部会提言を受けての22年度社協の事業計画 ・今後の取り組みについて
	12/24	委員5名	・福祉教育とは？ ・次年度社協事業への提言について
	2/8	委員7名	・次年度社協事業への提言について
ボランティア部会	8/3	委員5名	・三役の互選 ・昨年度のボランティア部会提言について ・昨年度の福祉教育・ボランティア部会合同部会提言について ・うきは市社協のボランティアに関する事業について ・今年度の部会活動について（意見交換）
	12/24	委員8名	・ボランティアに関するアンケートについて ・今後のうきは市におけるボランティア活動の推進について ・次年度社協事業への提言について

部会名	期日	出席者	協議事項
合同部会	8/3	委員 38 名	・部会員の委嘱について

(2) 高齢者等買い物支援特別委員会

	期日	会場	出席者	内容
第3回	7/26	うきは市総合福祉センター	委員 6 名	・第2回アンケート調査の結果について ・買い物送迎サービス、食材宅配サービスの利用状況等について ・今後の委員会活動について
第4回	10/28	うきは市総合福祉センター	委員 8 名	・第2回アンケート調査の結果より ・買い物送迎サービス、食材宅配サービスの現状について ・行政、社協への提言について

(3) 地域福祉活動計画策定委員会

期日	会場	出席者	内容
3/28	うきは市役所	委員 16 名	・委員の委嘱 ・委員長、副委員長の選任 ・計画の中間評価について

(4) 社協だよりを活用した住民アンケート調査

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかかわら版を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。(ふくしのかかわら版6月号、10月号、12月号、2月号にて実施) 17通

なお送付いただいた内容については、事務局での検討対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員と連絡を取り、状況確認と支援をおこないました。

(5) うきは市基本データの集積

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市役所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、4月にうきは市基本データを集積しました。

(6) ボランティアに関する住民アンケート調査の実施

うきは市民のボランティアに対する考え方、ボランティア活動への参加実態、必要とされているボランティア活動の内容、ボランティア活動に対する意見等を把握し、今後のうきは市のボランティア活動の推進、コーディネート機能の強化に役立てることを目的に、ボランティアに関するアンケートを実施しました。

- ・対象者：うきは市内全域の20歳～70歳代男女（無作為抽出）1,800名
- ・配布方法：区長による直接配布、郵送回収
- ・回収率：36.2%

2. 企画・広報事業

(1) 住民啓発資材（社協名入り花の種、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するために、住民配布用の資材として、花の種セット、ケナフの種入りポケットティッシュ、ボールペン、クリアファイルなどを配布しました。

(2) 広報カーの活用

たすけあい献血活動などを広報するために、社協の広報カーを活用しました。

(3) 行政放送の活用

社協の相談窓口や献血活動などをお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(4) 啓発ビデオの活用

19年度に作成しました啓発用ビデオ「みんなで支えあううきは市へ ～うきは市の小地域福祉活動～」を福祉委員研修会等において上映し、地域福祉推進、ボランティア活動推進に活用しました。

(5) 福祉座談会の実施

社協活動について、区の常会等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。

- ・実施回数 1回（12区）12名参加

3. 連絡調整事業

(1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項等
ふれあいセンター、地区公民館福祉部	ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容、課題解決他

(2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
地域福祉計画審議会	地域福祉計画中間評価	福祉事務所福祉係
精神障害者地域支援会議	地域生活への移行支援	北筑後保健福祉環境事務所
筑後地区高齢者・障害者支援連絡協議会	高齢者・障害者の処遇困難ケース検討	うきは市福祉事務所（事務局）
地域ケア会議	処遇困難ケースの事例検討、情報交換	保健課介護・高齢者支援係
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	福祉事務所福祉係
自殺対策協議会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係

4. たすけあい献血推進事業

(1) 献血推進協議会

期日	会場	出席者	内容
11/18	うきは市総合福祉センター	委員 35名	平成 21 年度献血運動について 平成 22 年度献血運動について 年頭たすけあい献血について

(2) 地域献血

期日	地区別	会場	配車台数	参加者	採血者 (%)	献血不適者
5/18 (火)	全 域	ムラおこしセンター	2	231	178 77.1%	53
10/4 (月)	全 域	ムラおこしセンター	2	220	188 85.5%	32
合 計		2 回	4	451	366 81.2%	85

(3) 年頭たすけあい献血

期日	地区別	会場	配車台数	参加者	採血者 (%)	献血不適者
1/3 (月)	大 石	大石公民館	1.5	120	112 93.3%	8
	福 富	福富公民館	1	60	54 90.0%	6
	新 川	新川公民館	0.5	30	27 90.0%	3
	田 籠	田籠公民館	0.5	20	14 70.0%	6
	妹 川	尼ヶ瀬公民館	0.5	23	18 78.3%	5
	山 春	山春公民館	1.5	91	79 86.8%	12
1/4 (火)	御 幸	うきは市公民館	2	137	112 81.8%	25
	小 塩	小塩公民館	0.5	16	15 93.8%	1
	浮羽町	働く女性の家	1	87	80 92.0%	7
1/5 (水)	千年・江南	市役所西別館	1	108	87 80.6%	21
	吉 井	うきは市生涯学習センター	1	72	63 87.5%	9
合 計		11 回	11	764	661 86.5%	103

(4) 事業所等献血

期 日	事業所、団体名	配車台数	参加者	採血者 (%)		献血 不適者
9/3 (金)	うきは警察署	0.5	26	26	100%	0
9/3 (金)	テクノ月星	0.5	38	31	81.6%	7
12/2 (木)	J A にじ本所	1	110	91	82.7%	19
3/10 (木)	うきは警察署	0.5	24	23	95.8%	1
3/10 (木)	テクノ月星	0.5	21	21	100%	0
合 計	5 回	3	219	192	87.7%	27

(5) 会議、研修会等

期 日	会議、研修会名	会 場	参加者
6/16 (水)	ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会	うきは市総合福祉センター	35名
7/20 (火)	ライオンズクラブ・市町村献血担当者合同研修会	久留米市赤十字センター	1名
10/29 (金)	ライオンズクラブ・市町村担当者合同献血推進研究会	福岡市八幡閣	1名

(6) 献血活動の広報

献血活動を推進するために、市広報・社協だより「ふくしのかわら版」への掲載、各行政区、市内主要箇所におけるポスターの掲示、広報カー・市役所防災無線での呼びかけ、年頭たすけあい献血チラシの全戸配布を行い、市民の皆さんにお知らせいたしました。

また、地域献血及び事業所献血では、参加者に対しBOXティッシュを、年頭たすけあい献血では、参加者にボールペンを進呈しました。

また、集落にて献血ビデオの上映を行い、献血活動の推進を行いました。(実施区/朝田原区)

5. 福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業)

(1) 福祉サービス利用援助事業

本会独自事業として、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。支援契約にあたっては、契約締結審査会の意見答申を受けて締結しました。

契約締結審査会

	期日	会場	出席者
第1回	6/29	うきは市総合福祉センター	委員5名
第2回	9/29	うきは市総合福祉センター	委員7名
第3回	11/10	うきは市総合福祉センター	委員6名
第4回	12/22	うきは市総合福祉センター	委員7名
第5回	3/22	うきは市総合福祉センター	委員7名

3月末の契約者数 18件

- ①福祉サービス利用援助 3月末利用者数 6件
(福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払代行等)
 - ②日常的金銭管理 3月末利用者数 17件
(公共料金等の支払代行、預貯金の出し入れ支援等)
 - ③書類等預かりサービス 3月末利用者数 17件
(日常的金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり)
- ※複数のサービスを利用されている方もあります。

相談経路 [平成22年度利用者 (契約者・試行利用者のみ) 実人員21名]

福祉事務所保護係	6	小学校	1
地域包括支援センター	5	入所先施設	1
民生委員・児童委員	3	市年金係	1
家族・親族	3	その他	1

援助者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	高齢者	7	7	7	8	8	8	8	7	8	8	8	8
	身体障害者	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	知的障害者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	精神障害者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
	その他	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
試行利用契約		0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
状況観察		1	0	3	2	2	1	1	0	0	2	1	1
合計		17	15	18	19	19	18	18	18	19	21	20	20

訪問、活動回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者	高齢者	43	38	34	58	39	41	37	36	38	35	36	40	475
	身体障害者	1	2	1	1	1	2	1	1	1	3	2	4	20
	知的障害者	42	33	40	44	45	46	38	38	41	37	37	38	479
	精神障害者	0	0	0	0	0	0	0	13	11	8	12	7	51
	その他	20	22	15	17	20	19	16	27	26	29	22	27	260
試行利用契約		0	0	0	7	13	10	10	15	18	13	8	9	103
状況観察		1	0	8	17	9	8	2	0	0	6	1	4	56
合計		107	95	98	144	127	126	104	130	135	131	118	129	1,444

その他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談受付回数	2	1	1	0	2	3	0	3	1	0	0	0	13
新規契約者	1	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	5
契約終了者	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

また、認知症高齢者や障害者等要支援者に対する悪質業者による訪問販売への対応（行政、地域包括支援センター、警察等関係機関との連絡調整）など、本サービスの利用に結びつかない事例でも、随時相談に応じると共に、必要に応じて成年後見人制度の紹介、申立に繋げるなど対応しました。

(2) 啓発活動

説明用パンフレットを作成し、社協窓口に設置。また、民生委員や関係機関等に配布しました。

6. 障害者地域生活支援事業

(1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障害者の様々な相談に応じると共に、障害者自立支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害者障害程度区分認定調査及び障害程度区分認定審査会への参加を行いました。

相談件数・相談内容

		身体障害者	知的障害者	精神障害者	関係機関	その他	合計
相 談 方 法	電 話	10	445	441	498	218	1,612
	来 所	37	573	813	93	68	1,584
	訪 問	12	98	109	35	25	279
	F A X ・ メール	2	0	7	5	0	14
合 計		61	1,116	1,370	631	311	3,489
相 談 内 容 内 訳	①手帳に関すること	2	1	4	0	0	7
	②就労に関すること	2	22	21	0	8	53
	③家族関係に関すること	5	36	74	0	6	121
	④対人関係に関すること	1	35	132	0	1	169
	⑤在宅福祉サービスに関すること	5	14	14	0	6	39
	⑥施設サービスに関すること	0	2	0	0	2	4
	⑦医療・保健に関すること	1	30	46	0	1	78
	⑧精神的問題（心配ごと）	7	101	334	0	15	457
	⑨日常生活に関すること	12	496	397	0	10	915
	⑩近況について	0	12	17	0	6	35
	⑪連絡・調整	2	0	8	631	164	805
	⑫その他	24	367	323	0	92	806

* 障害程度区分認定調査件数 66 件

* 障害程度区分認定審査会参加回数 8 回

(2) 障害者地域支援センター（ほっとスペースうきは）利用促進

うきは市総合福祉センターにおいて、障害者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センターを運営しました。センターでの活動に際しては利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。また、随時見学も受け入れております。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数実数		29	23	31	37	26	34	30	40	22	42	31	30	375
内 訳	身体障害者	4	0	0	4	0	8	3	16	1	6	3	2	47
	知的障害者	7	5	6	8	8	8	6	7	7	7	9	7	85
	精神障害者	13	13	21	20	16	14	14	14	11	15	13	14	178
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	8
	関係者・家族	5	5	4	5	2	4	7	3	3	7	6	6	57
利用者延人数		167	115	166	159	171	157	146	144	129	140	153	179	1,826
内 訳	身体障害者	4	0	0	4	0	10	3	16	1	15	17	22	92
	知的障害者	49	28	32	29	42	54	41	49	48	37	50	43	502
	精神障害者	109	82	130	121	127	89	95	76	77	72	80	105	1,163
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	8
	関係者・家族	5	5	4	5	2	4	7	3	3	9	6	8	61
新規登録者数		31	0	2	1	3	0	0	0	2	0	1	1	41
内 訳	身体障害者	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
	知的障害者	8	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	12
	精神障害者	23	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	26
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数		0	1	1	2	4	0	2	0	0	0	0	0	10
内 訳	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害者	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	精神障害者	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	5

7. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業

平成22年7月から市の受託事業として、専門相談員を配置し、様々な理由から学校に行くことができない不登校の子どもたちや、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得て、訪問活動を行い、連携機関との情報共有を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、セミナー等を開催することで、関係機関及び市民に対して不登校・ひきこもりに関する理解を図りました。

①支援実人数と相談・訪問支援件数

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	12	7	19

支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・来所） / 回	40	19	59
訪問支援（自宅訪問） / 回	89	14	103
合計	129	33	162

②支援状況

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進路決定	3	高卒認定試験受験	1
登校開始	1	一部ひきこもり	2
不登校気味	3	完全ひきこもり	4
完全不登校	3		
ひきこもりへ移行	1		
施設入所	1		
合計	12	合計	7

③関係機関との連携（会議・打ち合わせ等）

連携機関名	回数	連携機関名	回数	連携機関名	回数
市内小学校	13	スクールカウンセラー	1	福岡市子ども総合相談センター	10
市内中学校	37	福岡県若者サポートステーション	4	医療機関	2
通信制高校	6	福岡県ひきこもり地域支援センター	3	家族会	27
大学	16	北筑後保健福祉環境事務所	1	民生委員・児童委員	4
市（福祉事務所等）	34	久留米ハローワーク	2	民間施設・講師	10
うきは市教育センター	4	久留米児童相談所	4	他市町村社協	1
適応指導教室（キーノート）	14	久留米少年サポートセンター	7	合計	200

④不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

開催日	会場	参加者数	内容
9/9 (木)	うきは市総合福祉センター	18名	「不登校・ひきこもりの現状と対策～うきは市サポート協議会に望むこと～」 福岡県立大学 看護学部 講師 四戸智昭氏
3/7 (月)	うきは市総合福祉センター	15名	「不登校を一緒に考えるセミナー～子どもたちのおかれている環境と不登校の現状～」 福岡県立大学 看護学部 講師 原田直樹氏

8. ふれあいのまちづくり推進事業

(1) 総合相談事業

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談に応じられるような相談所を開設しました。

①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週火～金曜日 9:00～15:00

相談場所：水・金／浮羽事務所
火・木／吉井事務所

開設日数	197
相談来訪者	131
相談経路 来所	111
// 電話	20
相談件数※	140

※相談内容をカウントしており来談者数とは異なります。

相談援助事項		
終了解決	48	
相談継続	5	
社協による援助実施	0	
弁護士相談紹介	24	
他機関・組織への紹介	63	
内訳	民生委員児童委員	6
	福祉事務所	3
	その他行政機関	44
	その他民間組織	10

	相談事項	件数	内 容	内数
暮らし住まい	生計問題	19	公的扶助（生活保護）	4
			ローン問題	3
			公私借入問題	1
			サラ金問題	11
	年金問題	1	その他の年金	1
	職業・生業問題	4	求職	1
			賃金	1
			その他	2
	住宅問題	8	借地	1
			転居	2
家賃			1	
増改築			1	
その他			3	
家庭問題	19	夫婦関係	9	
		親子関係	2	
		嫁姑関係	3	
		親族問題	4	
		その他	1	
結婚問題	5	結婚前後の問題	2	
		婚前教育	1	
		結婚相談	1	
		内縁相談	1	
離婚問題	9	離婚相談	2	
		離婚手続き	2	
		親権者指定・変更	1	
		環境整備	3	
		その他	1	
健康医療	医療問題	1	医療費用	1

	相談事項	件数	内 容	内数
法律	人権法律問題	7	人権侵害	6
			法律解釈	1
	財産問題	14	遺産分割	2
			寄与分	1
			土地売買	2
			境界線（相隣問題）	2
			金銭貸借	2
			名義変更	2
			債務整理	2
			贈与	1
教育・青少年問題	2	進学	1	
		友人関係	1	
福祉	障害者（児）福祉問題	4	介護問題	2
			医療	1
	老人福祉問題	2	神経症	1
その他	苦情問題	22	介護	1
			老人福祉施設	1
	その他	23	行政施策に関する苦情	1
			相隣関係の苦情	18
			その他の苦情一般	3
	合計			140

②母子・父子・女性相談

相談開設：年12回（毎月第1木曜日）
 相談場所：偶数月／浮羽事務所
 奇数月／吉井事務所

	浮羽	吉井	計
相談開設	7	5	12
相談来訪者	2	3	5
電話相談	1	0	1
相談件数	3	5	8
内容	生活苦	1	2
	住宅問題	1	1
	離婚	0	1
	その他	1	1

③第三者苦情相談

相談開設：6回
 相談場所：浮羽事務所 5/10、9/7、1/17 実施
 吉井事務所 7/6、11/2、3/1 実施

	浮羽	吉井	計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	0	0	0

※ 1/17 には水月吉井、えびね荘、社協デイサービスセンターを訪問し、サービス現場の状況を把握しました。

④弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日）
 相談場所：偶数月／浮羽事務所
 奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	84
相談件数※	96

※相談内容をカウントしており、来談者数とは異なります。

相談結果

指導助言	90	
扶助協会への紹介	1	
弁護士紹介	5	
内訳	相談担当者直受	2
	継続相談	2
	相談担当者以外	1

	相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係	不動産関係	18	所有権	1
			登記	3
			売買	2
			賃借権	1
			建築工事	1
			境界	1
			相隣	6
			その他	3
	債権関係	10	貸金	7
			その他	3
	損害賠償	14	交通事故	3
			医療事故	2
			傷害	1
			その他	8

	相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係	その他	14	信販	2
			倒産破産	1
			労働関係	3
			その他	8
	家事関係	37	離婚	13
			相続	12
			親子	7
			その他	5
特殊事件	3	サラ金	2	
		民暴	1	
合計				96

- ・久留米弁護士会主催相談開設。9/17（来談者9名、相談件数16件）
- ・法テラス秋の巡回相談開設。10/13（来談者4名、相談件数4件）

⑤相談員研修

相談員の資質向上を図るため次の研修会の実施及び参加をしました。

期日	会場	参加者	研修内容
4/5	うきは市総合福祉センター	26	相談員委嘱状交付、「傾聴研修」講師 堤速生氏
10/7	えーるピア久留米	4	県法律相談合同研修会「遺言、遺産分割～相続をめぐる諸問題」
10/25	うきは市総合福祉センター	4	粕屋町社協相談員との意見交換会（5名来所）
11/8	アクロス福岡	1	法テラス福岡地方協議会

期日	会 場	参加者	研修内容
3/14	福岡国際会議場	3	第三者苦情相談員研修会
3/14	うきは市総合福祉センター	16	社協相談員意見交換会、次年度相談事業について
3/14	うきは市総合福祉センター	12	両筑地区社協連絡会主催 心配ごと相談員研修会

⑥相談窓口啓発パンフレットの配布

福祉委員（福祉委員委嘱状交付式、福祉委員研修会等）および市民（福祉座談会）の皆様等にパンフレットの配布を行いました。

（２）ボランティア活動に関すること

①ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の8:30～17:00にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月曜日の10:00～12:00と水・金曜日の10:00～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーターの会議を開き、ボランティア相談に関するケース検討等を行いました。

ボランティアセンター相談受付状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	2	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	9
②ボランティア依頼	17	17	25	20	21	18	23	21	22	22	25	21	252
③情報収集	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	4
④その他	1	1	0	2	0	2	2	0	0	0	1	0	9
合計	21	19	25	23	24	20	25	23	23	22	27	22	274

②ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）への斡旋等を行いました。

また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただきました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整をしながら、ボランティア参加を促しました。

ボランティア活動依頼内訳

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	外出・旅行介助（ガイドヘルプ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	16	14	21	16	19	13	19	19	21	22	22	20	222
生活援助	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	1	3	3	3	0	4	0	0	0	0	0	0	14
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	2	0	6
	イベント手伝い・出し物披露	0	0	0	1	2	0	3	1	1	0	1	1	10
技能提供	朗読、点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、点字の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		17	17	25	20	21	18	23	21	22	22	25	21	252

③ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

ボランティア保険加入者数 955名

④ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑におこなわれるように、活動費の助成や活動支援をおこないました。(助成金額 622,500円)

5/19 ボランティア連絡協議会総会、10/28 ボランティア連絡協議会役員研修(飯塚市災害ボランティアセンター視察研修)、1/22 ボラ連会員のつどいが行われ、活動支援を行っています。

うきは市では以下のような団体がボランティア活動をおこなっております。

うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表

H23年3月31日現在

団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会加盟団体	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会(日赤介護講習修了者グループ)	101 高齢者(一人暮らし・老夫婦)とのふれあい食事会 手作り弁当配布 シルバー男性料理教室 デイサービスセンター美化活動 施設入所者訪問
	声のグループ うさぎ	10 視覚障害者の方に市情報(広報うきは、議会だより、社協だより等)や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	4 高齢者世帯や障害者世帯を主として、水道関係・家屋補修および庭木の片付けなどを実施
	ハンディ移送サービスうきは	9 高齢者・障害者の移送サービス(会員制)
	七施会	17 社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ビューティボランティア	2 寝たきり高齢者、障害者を主として訪問美容活動(髪カット&パーマ)
	舞踊ボランティア	39 福祉施設への訪問活動 敬老会・子ども会・盆踊り大会などへの協力
	ハッピーかい	19 市内外の福祉施設や市内のよりあいでのセラピューティックケア、ハンドケアの実施
	ともしび会	7 視覚障害者の方に市情報(広報うきは、議会だより、社協だより等)や物語を録音し届ける
	点筆の会	6 視覚障害者の方に社協だよりや福祉情報、暮らしに役立つ情報を点訳し届ける
	かりん	13 よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力 視覚障害者料理教室等協力、施設訪問
	うきはにわか会	4 よりあいや高齢者施設や病院でうきはにわか(方言を使う楽しい話芸)を披露している
ほほえみの会	24 高齢者施設訪問、在宅介護者へのアドバイス活動	
団体・グループ：13 会員数：255名		
把握団体	うきうき福祉サービス	4 高齢者世帯や障害者世帯を主として家屋小修理・家事援助(除草作業・庭木の剪定など)(会員制)
	子育てサポート菜の花	25 一時預かり保育
	うきは市手話の会	27 聴覚障害者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	おはなし会かきの木	16 幼児・児童・高齢者などへの読み聞かせや日本伝統芸能の紹介
	傾聴ボランティアやまびこの会	6 高齢者施設、病院等での傾聴・交流
	ボランティアグループうきうき会	28 公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	80 地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	団体・グループ：7 会員数：186名	
個人	運転ボランティア	8 社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	28 市内でのよりあいで、健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	4 ボランティアセンター個人登録者
個人：40名		
活動者合計 団体・グループ 20 (441名) 個人：40名		

⑤ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、よりよいボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、推進に努めました。

⑥よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。(よりあいコーディネーター登録者：個人 28名 団体 1団体)

【派遣実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	9	3	9	10	6	8	12	17	8	4	18	17	121
団体	0	1	0	0	0	1	2	2	1	0	0	1	8

⑦よりあいコーディネーターフォローアップ研修

よりあいコーディネーターに登録いただいている方を対象に、指導力向上を目的に研修を行いました。

開催日	会場	参加者数	内容
5/28	うきは市総合福祉センター	23名	「身の回りの物を使って楽しむレクリエーション」 ヒューマンコミュニケーション研究所 所長 添田譲二氏
7/27	うきは市総合福祉センター	25名	「つくるを楽しむ！身近な物を使った物づくりレクリエーション」 NPO法人福岡県レクリエーション協会 原田弘美氏
9/10	うきは市総合福祉センター	26名	「備えあれば憂いなし！高齢者の生きがい作りと認知症予防」 NPO法人福岡県レクリエーション協会専務理事 佐藤靖典氏
11/10	うきは市総合福祉センター	21名	「セラピューティックケア研修会」 ボランティアグループ ハッピーかい
3/23	うきは市総合福祉センター	20名	「楽しいつどいの雰囲気づくり～コミュニケーションを深めよう～」 ヒューマンコミュニケーション研究所 所長 添田譲二氏

⑧うきうき福祉サービスへの支援

会員制互助活動として、家屋やその周辺の手入れなどの軽作業に関わっていただきました。

利用会員	数	実施件数	数
内 独居高齢者	3	庭の手入れ（草刈り、消毒、剪定）	2
内 障害者	1	雨漏りの修理	1
協力会員	4	戸の滑車の交換	1
			4

⑨ボランティア講習会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。

開催日	会場	参加者数	内容
8/7	総合福祉センター	6名	点字教室
11/6	総合福祉センター	20名	ボランティア講座「災害ボランティア講習会」
11/10	うきは自動車学校	17名	運転ボランティア講習会（安全運転講習会）
3/11	総合福祉センター	19名	車いす体験講座

⑩ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、次のような各種ボランティア研修やつどいへ、ボランティアや職員が参加しました。

開催日	会場	参加者数	内容
5/30	久留米市総合福祉センター	9名	福岡県総合防災訓練（災害ボランティアセンター設置訓練）
8/29	クローバープラザ（春日市）	6名	ボランティアスキルアップ研修
2/20	クローバープラザ（春日市）	44名	ボランティアきずなフェスティバル2010

⑪うきは市手話サークルへの支援

聴覚障害者への支援活動を行っている「うきは市手話の会」に、手話講習会や聴覚障害者との交流事業に活動費の助成をおこないました。

(3) ふれあいセンター・地区公民館福祉部、福祉活動支援事業

ふれあいセンターや地区公民館福祉部活動について、担当職員を配置し、活動の支援、連絡調整などをおこないました。

①ふれあいセンター・地区公民館福祉部、運営費・活動費助成

〔ふれあいセンター運営費算定基準〕

世帯数区分	運営費 (円)	該 当 地 区
0～500 世帯	80,000	妹川 田籠 新川 小塩
501～1,000 世帯	120,000	大石 山春
1,001～1,500 世帯	160,000	福富 (江南)
1,501～2,000 世帯	200,000	(千年) (吉井)
2,001～2,500 世帯	240,000	御幸

〔ふれあいセンター活動費算定基準〕

平等割り：各地区とも一律 40,000 円

分館数割り：一分館につき 2,500 円

世帯数割り：一戸につき 100 円

高齢率割り：うきは市の高齢率 27.1% (H22.4.1 現在) を基本値に 100% とし、各地区の高齢率比率を算出し、基本額 80,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区のふれあいセンターに次の運営費・活動費を助成しました。

	御 幸	山 春	大 石	小 塩	妹 川	新 川	田 籠	福 富	合 計
運営費	240,000	120,000	120,000	80,000	80,000	80,000	80,000	160,000	960,000
活動費	422,200	255,000	276,000	186,400	163,200	202,300	151,700	140,150	1,796,950

※千年・江南・吉井校区の地区公民館福祉部については、規定により運営費については基準の 1/4、活動費についても 1/2 をそれぞれ助成いたしました。また福富校区については、活動費を 1/2 助成しました。

	千 年	吉 井	江 南	合 計
運営費	50,000	50,000	40,000	140,000
活動費	163,100	168,000	141,150	472,250

※活動費は、各ふれあいセンターや地区公民館福祉部における福祉委員の研修、福祉レクレーション講習会、福祉大会、先進地・施設視察研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

※この他、各事業活動に応じて、追加助成を別途おこなっております。(助成金額 488,900円)

②ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会

各ふれあいセンターや公民館福祉部の連携や情報交換をおこなうため、ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会を開催しました。

〔ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会検討内容〕

期日・回	検討・情報交換項目
第 1 回 6/16	<ul style="list-style-type: none"> 各ふれあいセンター・公民館福祉部平成 21 年度事業報告・平成 22 年度計画について うきは市社会福祉協議会地域福祉部門事業計画の概要について 福祉活動について たすけあい献血推進事業について
第 2 回 11/4	<ul style="list-style-type: none"> 年頭たすけあい献血について 各ふれあいセンター・公民館福祉部上半期の主要事業の活動報告 歳末たすけあい年末年始援助活動について

③福祉会設置推進

7/29 に福祉会役員とふれあいセンター・公民館福祉部役員を対象に「福祉会研修会」を行い、3つの福祉会から事例発表を行っていただき、福祉会設置推進を図りました。

④福祉会活動支援・助成

うきは市内に 23 福祉会がありますが、助成要望書の提出があった 20 福祉会について、活動費の助成をおこないませんでした。東の 6 区福祉会、大野原区福祉会、御幸通区福祉会については助成要望がありませんでした。

地区	福祉会名	設置年度	助成額
大石地区	古川村福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	保木区福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	袋野区福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	西長瀬区福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	荒瀬・畑中区福祉会	平成12年度	10,000
御幸地区	川原町区福祉会	平成13年度	10,000
妹川地区	櫻ヶ平区福祉会	平成13年度	10,000
御幸地区	旭町区福祉会	平成13年度	10,000
山春地区	三春原福祉会	平成14年度	10,000
大石地区	中鶴区福祉会	平成15年度	10,000
大石地区	糸丸区福祉会	平成15年度	10,000
大石地区	東の4・5区福祉会	平成17年度	10,000
大石地区	東の1・2・3区福祉会	平成17年度	10,000
大石地区	古川町区福祉会	平成17年度	10,000
山春地区	川籠石区福祉会	平成18年度	10,000
御幸地区	朝田原区福祉会	平成20年度	10,000
御幸地区	中町区福祉会	平成20年度	10,000
大石地区	西高見(西の1・2・3・5)福祉会	平成21年度	10,000
御幸地区	浮羽区福祉会	平成21年度	10,000
大石地区	西の4区福祉会	平成22年度	10,000
計	20福祉会		200,000

助成金については、基本助成として10,000円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成しております。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には入りません。なお、福祉会は、福祉問題調査活動を終えて福祉会規約を作成し、年間の活動計画・予算等を整備した区(地区)に助成をおこなっております。

また、区の役員(区長、分館長、福祉委員、民生委員等)の皆様と地域で悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

・開催福祉会/4福祉会(東の4・5区、川原町区、西高見(西の1・2・3・5区)、朝田原区)

⑤よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成をおこないました。

開催回数/270回 開催区数/76区

参加内訳:高齢者/4,410名 世話人/1,315名 その他/586名 参加者計/6,311名

地区	開催区/行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2/5	225	75	89	389	14
新川地区	1/8	38	7	2	47	3
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩校区	3/4	365	67	28	460	28
山春校区	12/17	500	211	101	812	34
大石校区	17/18	585	250	62	897	35
御幸校区	20/28	1,098	402	139	1,639	48
千年校区	5/20	454	57	54	565	31
福富校区	8/23	592	130	64	786	41
吉井校区	4/15	207	66	16	289	19
江南校区	4/19	346	50	31	427	17
計	76/158	4,410	1,315	586	6,311	270

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。

また、よりあいの手引きを作成しましたので、これから福祉委員や民生委員等関係者に配布し、推進を図ります。

(4)ふれあいセンター活動計画策定支援

よりきめ細やかに校区単位で福祉を進めていただくために御幸校区をモデル地区に指定し、平成21年10月にふれあいセンター御幸活動計画が策定されました。22年度は、この計画を他の地区でも策定していただけるよう公民館、ふれあいセンター役員との協議を重ねました。

(5) 民生委員児童委員活動の支援・助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して支援・助成を行いました。

・助成実施行政区 50行政区 参加者 252名 (民生委員、福祉委員、区長、ボランティア等)

9. 共同募金配分金事業

(1) 高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出をおこないました。

・平成22年度貸出 総数 104件

②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会をおこないました。

開催日/10/25 会場/JAにじ総合会館アルカス 該当者/48組

祝宴参加者/43組 (81名)

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、活動の側面的支援を行うほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市老人クラブ連合会	586,215円	・高齢者相互支援活動、研修会 ・ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会 ・老人クラブ会報発行 ・花いっぱい事業

④一人金婚式の助成

妹川・御幸地区公民館主催により実施された一人金婚式に対し、助成を行いました。

⑤高齢者安心カード作成 (個人情報記載携帯カード)

高齢者安心カードを作成するために、老人クラブを通じて概ね75歳以上の登録希望者の方に申込み記入用紙を配布し、142名の方のカードを作製し、配布を行いました。

(2) 障害者・家族への支援

①障害者団体活動支援・助成

障害者 (支援者) 団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市障害者福祉協会	574,798円	・部会活動 (視覚障害者部会・聴覚障害者部会他) ・会員交流活動
うきは市知的障害者育成会	40,300円	・クリスマス会
チャレンジド親の会	36,200円	・親子交流会
合計	651,298円	

②障害者福祉情報の提供

ふくしのかかわら版にて、障害者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関するの情報提供をおこないました。

③視覚障害者用録音物・郵便物貸出事業

市内の視覚障害者の方へ、朗読ボランティア (声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会) の協力により、広報うきは、ふくしのかかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。(利用者: 9名)

また、市内の点字を利用している視覚障害者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、福祉のかかわら版など身近な情報を点訳し届けました。(利用者: 8名)

④浮羽共同作業所活動支援・助成

精神障害者の共同作業所である、NPO法人みつば会「浮羽共同作業所」に対し、共同募金配分金より一般活動費として40万円を助成しました。

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる各団体・組織に活動費および備品購入費の助成をおこないました。

名 称	助成額	名 称	助成額
うきは市適応指導教室キーノート	3,147 円	吉井学童保育所	30,000 円
育児サークルちびっこ広場	30,000 円	福富学童保育所	25,728 円
育児サークルひよこくらぶ	24,540 円	大石学童保育所	30,000 円
うきは子育てサポート菜の花	29,940 円	御幸学童保育所	30,000 円
遊林学童保育所（遊林クラブ）	30,000 円	久留米児童相談所管内施設連絡協議会	3,000 円
千年学童保育所	30,000 円	合 計	266,355 円

②子ども用遊具貸出

各子育て支援団体等に必要遊具を貸し出ししました。

③母子・父子福祉活動事業

23年度、小学校に入学するお子さん（母子・父子家庭）に対して、新入学お祝いとして、学用品を送りました。（新入学児童数：28名）

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団 体 名	助成金額	活 動 概 要
うきは市母子寡婦福祉会	523,266 円	・親子バスハイク（会員交流）・若年母子研修会 ・役員研修

⑤子育て支援情報の提供

ふくしのかかわり版にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

また、子育て情報紙（当事者が取材、編集）発行のため、講座を実施し、次年度発行に向けての学習をしました。（2/28、3/8、3/15、講師：特定非営利法人子育て支援活動サポート Will 木ノ原元美氏）

⑥水生生物による簡易水質調査

子供たちに自分たちが住んでいる地域の河川環境に目を向けてほしいとの願いから、筑後川河川事務所との共催により小学生を対象に公募し、うきは市内を流れる巨瀬川において水生生物による簡易水質調査を実施しました。

実施日 8/4 日向橋（浮羽町妹川） 参加者 19名

⑦育児用品リサイクル事業

多くの市民の皆様により育児用品の寄贈を頂きました。保管、点検は社協・ボランティアセンターでおこない、貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて実施しました。

(4) 福祉教育に関する事業

①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催いたしました。（福祉教育指定校連絡会開催日 5月26日、3月16日）

②福祉教育指定校助成

市内の全小中学校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動費助成金(840,000円：@ 70,000円×12校)を交付しました。

③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に車イス、点字体験を実施。ゲストティーチャーの斡旋も行いました。（御幸小学校、千年小学校）

④福祉教育読本の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育読本「ともに生きる」を福祉教育教材として市内全小学校の5年生に1冊ずつ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の生活問題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員のかわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、分館長、民生委員児童委員に配布しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の、協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を発行し、全戸に配布しました。(年1回)

④地域憩いの広場新設・修理助成

地域憩いの広場助成として、1行政区より申請があり助成をしました。

支出日	対象地区	内容	助成額
2/3	今竹区(江南校区)	公園遊具改修	49,000円

⑤ホームページの開設・情報定期更新

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など新鮮な情報を掲載しました。また、ユーザビリティに配慮し、どなたにも見やすい様に工夫しました。

⑥福祉用具無料貸出

在宅で介護をおこなってられる方々を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	109	電動車いす	2
介護用ベッド	26	歩行器	4
ポータブルトイレ	20	サイドテーブル	2
シルバーカー	3	松葉杖・杖	2
シャワーチェア	3	合計	171

⑦福祉車両の無料貸出

普通の車での外出移動が困難な方へ、社協の福祉車両を無料貸出しました。(但し、燃料費自己負担)
・平成22年度 延利用件数49件

(6) 災害緊急支援活動に関する事業

①災害ボランティアセンター整備

もしもの災害に備えて活動に必要な物品の一部を整備しました。(一輪車、スコップ、救急箱等)

②災害ボランティアセンター活動マニュアル策定

マニュアル策定にむけて市との協議や研修を行いました。

期日	内容
5/30	県総合防災訓練参加(久留米市)
11/11	先進地視察研修(山口県防府市)
9/22・2/4	福祉係、消防防災係との話し合い

(7) たすけあい援護金品の支給に関する事業

①要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JAにじ「耳納の里」様ならびに農産物搬入者様のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・金曜日の夕方いただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた配達を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせてお配りしています。

区分	対象	延べ回数	備考
低所得世帯	8	130	
障害世帯	8	255	
生保世帯	11	168	保護開始前の支援も実施
母子世帯	9	224	
その他	2	56	医療機関等
合計	38	833	

②火災等災害被災者へのお見舞い

火災の災害に遭われた市民の方に対し緊急にお見舞いとして見舞金を贈りました。

・件数：1件

(8) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①年末見舞金

※年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。(見舞金総額：2,455,000円)

援護の必要な世帯	62世帯	1,223,000円	遺児	9名	72,000円
長期在宅療養・認知症の方	42名	336,000円	両親の扶養のない児童	5名	40,000円
在宅重度障害者(児)	98名	784,000円			

②年末年始援助活動

※年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,773,312円)

①福祉施設歳末行事(3施設)	90,000円	⑥子育て支援活動	255,380円
老健うきは、浮羽学園、白鳥の家		うきは市適応指導教室キーノート「クリスマス会・年末餅つき会」	
②一人暮らし高齢者等見守り訪問活動	411,600円	御幸学童保育所(うきうきクラブ)「クリスマス会」	
要援護世帯へのカレンダー配布		大石学童保育所(ラビットクラブ)「クリスマス会」	
③正月用おもち配布活動	68,705円	江南学童保育所(キラキラルーム)「クリスマス会」	
吉井幼稚園・吉井地区民児協によるお餅配布(284名)		福富学童保育所「クリスマス会」	
少林寺拳法浮羽道院によるお餅配布(50世帯76名)		吉井学童保育所(にこにこクラブ)「クリスマス会」	
④地域交流活動事業	210,100円	子育てサークルちびっこ広場「クリスマス会」	
吉井幼稚園「浮羽老人ホーム慰問」		子育てサークルひよこくらぶ「クリスマス会」	
うきは市母子寡婦福祉会「若年母子クリスマス会」		グループいろり「みんなでハッピークリスマス～サンタが街にやってきた～」	
うきは市障害者福祉協会「グラウンドゴルフ新春親睦大会」		千年学童保育所(ひまわりクラブ)「クリスマス会」	
うきは市視覚障害者部会「障害者とボランティア交流会」		⑦年賀状配布事業	2,000円
うきは市手話の会「クリスマス交流会」		吉井幼稚園による一人暮らしの方への年賀状配布(40通)	
チャレンジド親の会「障害のある子どもたちと家族の交流会」			
ハッピーかい「福祉施設利用者との交流」			
⑤ふれあいセンター等歳末援助活動	735,527円		
ふれあいセンター田籠・新川・小塩・妹川・山春・大石・御幸・福富			
千年・吉井・江南公民館福祉部			

10. 資金貸付事業

民生委員児童委員が低所得世帯等の更生指導をおこなう資源として、資金貸付制度の運用をおこないました。資金の貸付にあたっては、貸付調査委員会の意見・答申のもとに行いました。

貸付調査委員会

	期日	会場
第1回	4/15	うきは市総合福祉センター
第2回	6/7	うきは市総合福祉センター
第3回	6/17	うきは市総合福祉センター
第4回	8/6	うきは市総合福祉センター
第5回	10/4	うきは市総合福祉センター
第6回	1/13	うきは市総合福祉センター
第7回	3/7	うきは市総合福祉センター

(1) 生活福祉資金貸付事業(県社協より事務委託)

【平成22年度貸付】

資金種類	22年度取扱い分	うち22年度新規
総合支援資金	4	1
福祉資金	10	2
緊急小口資金	4	4
教育支援資金	43	7
不動産担保型生活資金	1	
計	62	14

【初回相談件数】

相談内容	件数
生活費等	57
教育費	21
その他(問い合わせ)	18
計	96

(2) 援護資金貸付事業

【平成22年度状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
前年度以前貸付	1,234,500	23			833,264	401,236	9
年度内貸付			585,000	12	279,000	306,000	5
合 計	1,234,500	23	585,000	12	1,112,264	707,236	14

(3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けています。

【育英奨学資金償還状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	件数	年度末償還残額	件数
分割貸付完了分	3,009,900	10	1,171,700	10	1,838,200	7

22年度新規採用者なし。

1 1. 家族介護支援事業

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

①介護者家族の会「コスモス会」活動支援・助成

実施日	行事内容	参加者数
5/20	総会、家族のつどい	21名
6/3	定例会 お手玉づくり	6名
7/5	リフレッシュ日帰り旅行	22名
8/5	定例会 お手玉づくり	6名
9/2	定例会 お手玉づくり	12名
10/7	介護者のつどい（認知症サポーター養成講座）	25名
11/4	リフレッシュ日帰り旅行	20名
12/2	交流会 赤い羽根共同募金協力	24名
12/7	役員会	8名
3/7	役員会	7名
3/10	総会（お別れ会）	27名
	合計	178名

②うきは市在宅介護者のつどい

期日	内 容	参加者数
6/11	第1回在宅介護者のつどい 介護教室 講師：九州大谷短期大学 教授 松尾 智子氏	20名
7/14	第2回在宅介護者のつどい 介護料理教室 講師：栄養士 家永 景子氏	27名
9/10	第3回在宅介護者のつどい 介護教室 講師：九州大谷短期大学 教授 松尾 智子氏	22名
11/17	介護体験発表（田主丸町介護者との交流会）	24名
12/7	第4回在宅介護者のつどい 介護料理教室 講師：栄養士 家永 景子氏	8名
	合 計	101名

1 2. 移送サービス支援事業

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、送迎サービスを実施していただきました。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車、介護車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったまま

の移送が可能です。(利用無料、活動協力費を社協助成)

【ハンディ移送サービス利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	12	16	15	17	18	21	17	19	18	17	19	20	209
内訳	独居高齢者	4	4	4	5	5	8	7	8	9	9	9	81
	高齢者世帯	2	4	4	5	4	5	3	4	4	3	3	44
	身体障害者	2	2	3	2	3	3	1	1	1	1	2	24
	視覚障害者	2	3	2	2	2	2	3	2	2	2	2	26
	知的障害者	1	2	0	1	2	1	1	2	0	0	1	12
	内部障害者	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
移送件数	29	33	39	39	39	36	38	43	43	37	46	52	474
内容	通院送迎	29	31	34	37	37	32	38	41	42	36	44	451
	買い物	0	2	5	2	2	3	0	1	1	1	2	20
	その他	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
利用時間(時間)	69.0	66.0	67.0	65.0	68.5	77.0	70.0	74.5	71.0	71.0	76.5	93.0	868.5
走行距離(km)	735	725	768	785	727	904	745	835	729	670	901	944	9,468

Ⅲ 在宅福祉サービス事業部門

1. うきは市ケアプランサービスセンター

□営業日/月～金曜日(但し、国民の休日、12/29～1/3を除く)

□サービス提供時間/午前8時30分～午後5時15分

□職員体制/介護支援専門員5名(内、兼務職員3名)

(1) 居宅介護支援事業(要介護認定者のケアプラン作成)

・利用者数 94名(平成23年3月現在)

・年間延作成件数 1,168件

(2) 受託事業

① 特定高齢者把握事業(市受託事業)

※市の要請により、介護福祉士・社会福祉士等の有資格者が高齢者宅を訪問。高齢者の実態を把握し、市へ報告し、特定高齢者の選定につなげるとともに、必要に応じて相談窓口へつなぎ、問題の解決にあたりました。

・年間把握件数 143件

② 介護予防支援事業(福岡県介護保険広域連合受託事業)

※要支援認定者の予防プラン作成

・利用者数 8名(平成23年3月現在)

・年間延作成件数 83件

2. うきは市ヘルパーステーション

□営業日/年中無休(但し、12/31、1/1を除く)

□サービス提供時間/午前7時～午後9時(時間外も対応)

□職員体制/ホームヘルパー12名

(1) 介護保険事業

① 介護予防訪問介護事業: 要支援認定者へのヘルパー派遣

・利用者数 24名(平成23年3月現在)

・年間延サービス回数 1,874回

② 訪問介護事業: 要介護認定者へのヘルパー派遣

・利用者数 31名(平成23年3月現在)

・年間延サービス回数 5,078回

(2) 障害者自立支援事業

① 居宅介護

※介護保険での訪問介護事業と併せて実施。障害者へのヘルパー派遣。

・利用者数 11名(平成23年3月現在)

・年間延サービス回数 1,911回

(3) 受託事業

①生活管理指導員派遣事業（市受託事業）

※介護保険認定外者で、日常生活を営むのに支障がある独居高齢者等に対し、生活管理指導員（ヘルパー）を派遣し、日常生活上の援助を行い、自立した生活を可能にし、要支援・要介護状態への進行防止に努めました。

- ・利用者数 6名（平成23年3月現在）
- ・年間延サービス回数 285回

②移動支援事業（市受託事業）

※介護保険での訪問介護事業と併せて実施。障害者の外出支援（ガイドヘルプ）

- ・利用者数 3名（平成23年3月現在）
- ・年間延サービス回数 110回

③母子家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

※日常生活を営むのに支障が生じている母子家庭に、家庭生活支援員（ヘルパー）を派遣して、生活を支援します。

- ・今年度は利用がありませんでした。

④家庭支援スタッフ訪問事業（市受託事業）

※児童のいる世帯で育児に対する支援の必要な家庭に対して、家庭支援スタッフ（ヘルパー）を派遣し、家事、育児、相談等の支援を行いました。H22.10月～H23.3月のみ実施。

- ・利用者数 6名（平成23年3月現在）
- ・年間延サービス回数 236回

(4) 制度外サービス事業（独自事業）

①暮らし安心サービス

※利用者や介護支援専門員の要望を受けて、介護保険事業並びに障害者自立支援事業では、対象とならない身体介護・生活援助サービスを提供し、在宅生活を支援しました。

□利用者負担／1回当たり

30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 2時間未満	2時間以上 (30分増す毎に)
800円	1,600円	2,400円	3,200円	800円

- ・利用者数 12名（平成23年3月現在）
- ・年間延サービス回数 492回

3. うきは市デイサービスセンター

□営業日／年中無休（但し、8／14・15、12／31～1／3を除く）

□サービス提供時間／午前9時30分～午後4時（時間延長にも対応）

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

調理員4名（内、兼務職員1名）、献立：管理栄養士（兼務職員）

(1) 介護保険事業

①介護予防通所介護事業

※要支援認定者へ運動器機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態とならないように努めました。

- ・利用者数 30名（平成23年3月現在）
- ・年間延サービス回数 2,467回

②通所介護事業

※要介護認定者へ個別機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態の悪化防止に努めました。

□1日の職員体制／職員8名（管理者、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）※介護予防通所介護事業と一体的に実施。

- ・利用者数 33名（平成23年3月現在）
- ・年間延サービス回数 5,133回

③認知症対応型通所介護事業

※認知症専用の通所介護施設として、日常動作訓練、レクリエーション等のサービスを実施し、認知症の方の介護並びに進行防止に努めました。

□1日の職員体制／職員4名（管理者、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

- ・利用者数 10名（平成23年3月現在）

- ・年間延サービス回数 1,285 回

④介護予防訪問入浴介護事業

- ※要支援認定者の自宅を、移動入浴車で訪問し入浴介助。
- ・利用者数 1名(平成23年3月現在)
- ・年間延サービス回数 5回

⑤訪問入浴介護事業

- ※要介護認定者の自宅を、移動入浴車で訪問し入浴介助。
- ・1回の職員体制/看護職員1名と介護職員2名。
- ※介護予防訪問入浴介護事業と一体的に実施。
- ・利用者数 8名(平成23年3月現在)
- ・年間延サービス回数 501回

(2) 受託事業

①生きがい活動支援通所事業(市受託事業)

- ※介護保険認定外者の高齢者に対し、要支援・要介護状態とならないようにサービスを提供しました。介護保険での通所介護事業と併せて実施。
- ・利用者負担/1回 1,000円(昼食、おやつ、入浴、送迎付)
- ・利用者数 9名(平成23年3月現在)
- ・年間延サービス回数 325回

②身体障害者訪問入浴サービス事業(市受託事業)

- ※介護保険での訪問入浴介護事業と併せて実施。障害者世帯に移動入浴車で訪問し入浴介助。
- ・利用者数 2名(平成23年3月現在)
- ・年間延サービス回数 132回

(3) 制度外サービス事業(独自事業)

①認知症高齢者ナイトケア事業(うきは市デイサービスセンター)

- ※利用者家族からの要望を受けて、介護保険事業である短期入所生活介護(ショートステイ)以外の取り組みとして、夜間預かりを実施しました。
- 利用者負担/ナイトケア代(1泊) 2,000円、食事代(夕食・朝食) 500円
- ・利用者数 2名(平成23年3月現在)
- ・年間延サービス回数 24回

②あったか宅配サービス

- ※利用者、市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが、中止となった方や申込みをしたが、該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、月曜日から土曜日、昼食と夕食を配食。配食時は、健康状態や安否の確認をしました。
- ・利用者負担/1食 500円
- ・利用者数 15名(平成23年3月現在)
- ・年間延サービス回数 3,101回

4. 福祉給食センター(市役所西別館)

(1) 食の自立支援事業(市受託事業)

日曜日を除いて毎日(但し、8/14・15、12/30～1/3を除く)昼食と夕食を調理し、健康確認や安否確認をしながら配食しました。

- 利用者負担/1食 400円(但し、生活保護受給者は1食 300円)
- 活動体制/調理:給食員3名
献立:管理栄養士(兼務職員)
配食:給食員とボランティア
- 配食コース/3月:昼食3コース、夕食5コース(内、ボランティア3名)
- ・利用者数 70名(平成23年3月現在)
- ・年間延配食数 26,134食(昼食9,075食、夕食17,059食)

5. 身体障害者小規模通所授産施設「白鳥の家」

「白鳥の家」は、身体障害者福祉法及び社会福祉法の規定に基づいて、適切な運営を行い、各種作業や販売、地域行事（各地区福祉大会等）への参加を通して、利用者の社会生活の促進、社会活動への参加、就労に向けての支援となるよう事業を展開しました。

また、パンの家『スワンベーカーリー』や日用雑貨品の販売コーナー『スワンショップ』、うきは市民センター2階にある『喫茶あひるの子』では、多数の市民の方々に温かいご支援とご利用をいただきました。

今後もより一層、障害者が気軽に集える場、交流の場、仕事の場、そして社会への自立に向けた架け橋の場となるよう努めると共に、地域の皆様の集いの場となるよう頑張っていきます。

- 開所日 月～金曜日（但し、国民の休日及び8/13～15、12/29～1/4を閉所）
- 開所時間 午前9時～午後4時
- 指導体制 生活支援員1名、職業指導員4名
- 通所者数 25名（平成23年3月現在）
- 年間延通所者数 4,540名
- 主な行事

期 日	内 容
4/12	ボランティアグループあいの会食事会
5/1	ソフトバンク野球観戦（ヤフードーム、ドイツ証券様招待）
6/25	あったか五つ花交流運動会（うきはアリーナ）
9/23	よさこい祭り出店参加
9/30～10/1	一泊視察研修（長崎市、軍艦島）
10/7	赤い羽根街頭募金活動
11/22	ボランティアグループあいの会交流会
12/5	うきは市人権フェスティバル人権の一言参加、出店販売
12/6	障害者がつくる「まごころ製品」販売会（北筑後保険福祉環境事務所）
12/13	クリスマス交流会（ボランティアや日頃お世話になっている方を招待）

- 主な作業内容

作 業 名	作 業 内 容
業者下請け作業	しおり折り、袋紐通し、糸切り
アルミ回収作業	ボランティア、市民の皆様にご協力頂いています
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り
印刷作業	名刺印刷
スワンショップ	日用雑貨品の販売
パンの家スワンベーカーリー	パンの製造販売、喫茶ルーム
喫茶あひるの子	喫茶、パン販売

6. 関係機関との連絡調整

- *うきはブロック介護サービス事業連絡会（市内介護サービス事業所で組織）等を通じ、事業者間の連絡調整会議、研修会等に参加し、事業者間の連携と資質の向上に努めました。
- *久留米市社会福祉協議会田主丸支所と「介護保険事業所相互研修会」を実施し、経営面、サービス面についての情報交換を行い、資質の向上に努めました。
- *うきは市内障害者福祉施設の4施設（希望が丘、浮羽学園、浮羽共同作業所、白鳥の家）により施設間及び市との情報交換、連携を深め、障害者並びにその家族の抱える悩みや不安を解消できるようにと「うきは市障害者福祉施設連絡会」を結成しました。

IV その他

1. 実習・見学受入状況

(1) 身体障害者小規模通所授産施設「白鳥の家」

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
御幸小学校	27	姫治小学校（花苗植込）	4	小塩小学校1年生	7
御幸・山春民生委員	14	親の会	2	吉井中学校1年生 （福祉体験）	6
吉井公民館福祉部	13	県立福岡高等視覚特別支 援学校	5	福岡市東花畑校区社会福 祉協議会	16
県立筑後特別支援学校 （実習生）	1	県立小郡特別支援学校中学 校（実習生）	1	計 11団体 96名	

(2) 通所介護事業（うきは市デイサービスセンター）

団体・組織	人数	団体・組織	人数
九州大谷短期大学	3	吉井中学校1年生	6
計 2団体 9名			

(3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
九州大谷短期大学	3	朝倉光陽高等学校	6	平岡学園	2
麻生教育サービス（株）	1	日本赤十字社	3		
計				5団体	15名

(4) 社会福祉士援助技術現場実習（地域福祉課）

団体・組織	人数	団体・組織	人数
久留米大学	1	麻生医療福祉専門学校	1
計 2団体 2名			

(5) 社協視察受入

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
筑紫野市鳥居校区老人ク ラブ	20	みやま市福祉事務所 みやま市社会福祉協議会	9	みやま市社会福祉協議 会	3
合計				3団体	32名

(6) うきは斎場視察受入

団体・組織	人数	団体・組織	人数
篠栗町社会福祉協議会 葬祭事業委員会	9	若狭町社会福祉協議会	8
計		2団体	17名

V 平成22年度寄付者名簿

一般会計（香典返し寄付）

（敬称略）

香典返し寄付金	合計	318件	9,627,750円
---------	----	------	------------

一般会計（一般寄付）

（敬称略）

一般寄付金	合計	93件	43,623,793円
-------	----	-----	-------------

授産施設特別会計（物品寄付）

（敬称略）

物品寄付	合計	1件	78,000円
------	----	----	---------